

令和4年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・最終)

警固屋中学校区 校番 10 学校名 警固屋小学校

Table with 3 columns: a 学校教育目標, b 経営理念, and school mission/vision. a: 「自分を創る」～地域を愛し、自ら学ぶ心豊かで力強く未来を拓いていく「警固屋っ子」の育成～. b: 経営理念 ミッション・ビジョン. Mission: 小中一貫教育を通して、未来への展望を持ち「自他の幸せを目指し、自立し貢献できる人間」の根っこを育てる。 Vision: 学習活動や行動が充実し、仲間と学ぶ楽しさがあふれる学園。子どもの夢や希望を生み出し、実現させる学園。地域・社会に貢献する実践的行動力のある学園。

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点. 【現状(○成果●課題)】 ○小中一貫教育を推進する組織体制を築いており、小学校と中学校が共通の目標の下、研究を進めている。 ○教科の本質を追究した「考える授業づくり」に向けて組織的な取組を進めている。 ○地域における学園の存在意義を教職員・児童生徒・保護者が共有し、地域と一体となって学校教育目標「自分を創る」を目指している。 ●各学力調査において課題が見受けられ、基礎学力(基礎・基本)の定着が重要課題である。 ●学力調査や公立高等学校入試を見据え、15歳の生徒に身に付けてほしい力の向上にむけて、小中学校が系統的に進める必要がある。 ●児童生徒の実態を踏まえ、生活習慣・学習習慣の改善に取り組む必要がある。 上記の現状より、次の5点を今年度の重点とする。 ①未来に貢献する「自分を創る」(資質・能力を培う)ための主体的な学びを推進する。(学力向上・生き方) ②誰もが安全で安心して学べる教育環境の確保する。(生徒指導・学級経営) ③健康で生きがいをもって生涯を生き抜く生活習慣の基盤づくりをする。(基本的生活習慣) ④教職員が自らの意欲と能力を発揮できる教育環境を整備する。(児童と向き合う時間の確保・業務改善) ⑤小中一貫教育校として新たな価値を創造する学校組織を構築していく。(協働的な組織)

育成を目指す資質・能力: 知識・技能(知識及び技能) 思考力・判断力・表現力(思考力, 判断力, 表現力等) 主体性, 協働性(学びに向かう力, 人間性)

Main evaluation table with columns: 評価計画(中期経営目標を設定してから1・2・3年目), 自己評価(上半期, 下半期). Rows include: 1. 未来に貢献できる「自分を創る」資質・能力を育むための主体的な学びを推進する. 2. だれもが安心・安全な環境で学べる学校風土を醸成する. 3. 教職員が自らの意欲と能力を発揮できる教育環境の整備.

【k: 評価】 A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成)<100 C: 60≦(もう少し)<80 D: (できていない)<60